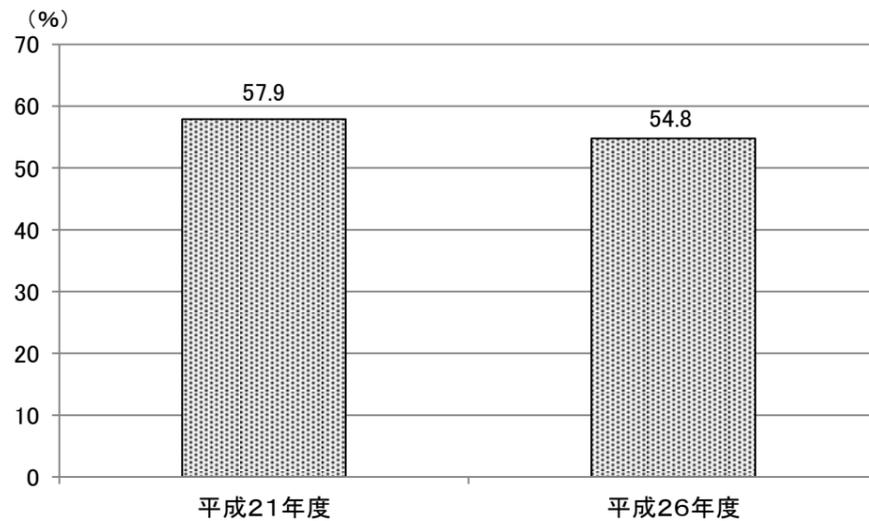


領域と分野	分野別目標
2-6 歯・口腔の健康	歯・口の状態についてほぼ満足している者の割合を増やす

指標の推移

指標	ベースライン (平成21年度)	中間評価 (平成26年度)	指標の 方向	評価
歯・口の状態についてほぼ満足している人の割合 (80歳以上)＜東京都歯科診療所患者調査＞	57.9%	54.8%	増やす	b

歯・口の状態についてほぼ満足している者の割合(80歳以上)



指標数値に関する分析と評価

直近値に係る分析 (ベースラインからの動きについて(留意点含む))	評価 (直近の実績値に対する評価)
○ 歯・口の状態についてほぼ満足している者の割合: 2点での比較では、わずかに減少	○ ほぼ横ばい
	b

これまでの取組

＜都の取組＞

- ◇普及啓発・基盤整備
 - ・8020運動推進特別事業
 - ・歯科口腔保健推進事業等
 - ・保健所歯科保健推進事業
 - ・周術期口腔ケアにおける医科歯科連携推進事業
 - ・在宅歯科医療推進医療体制の整備

＜関連分野＞
 (領域1)主な生活習慣病の発症予防と重症化予防
 分野1-2 糖尿病・メタボリックシンドローム
 分野1-3 循環器疾患
 (領域2)生活習慣の改善
 分野2-1 栄養・食生活
 分野2-5 喫煙
 (領域3)ライフステージを通じた健康づくりと健康を支える社会環境の整備
 分野3-3 高齢者の健康

＜区市町村に対する支援＞

- ◇医療保健政策区市町村包括補助事業
 - ・摂食・嚥下機能支援推進事業
 - ・フッ化物洗口推進事業
 - ・介護保険施設歯科健康管理支援に関する事業

◆ 現状と課題／今後の方向性

＜現状＞

- 歯・口の状態についてほぼ満足している者の割合(80歳以上)は、5割程度でほぼ横ばい
- 8020を達成している者(80歳)は、15ポイント近く増加し、54.7%
- かかりつけ歯科医で定期健診又は予防処置を受けている者の割合(40歳(35~44歳))は、10ポイント以上増加し、71.9%
- 一方、糖尿病が歯周病のリスクであることを知っている者の割合(20歳以上)は、増加しているが、5割程度

＜課題＞

- 生涯を通じた歯と口の健康づくりにとって大切な時期となる若い世代の歯周病に対する予防の取組の強化
- 高齢期における身体機能の維持に向けた、歯と口のセルフケアの継続
- 糖尿病と歯周病の関係など、歯と口の健康と全身の健康との関係に関する都民の理解の推進

＜今後の方向性＞

- ライフステージの特徴に応じた歯と口の健康づくりの重要性に関する普及啓発
 - ・糖尿病や心疾患、早産等の全身の健康と歯周病との深いかわりに関する普及啓発の推進
 - ・学校歯科保健等を通じ、セルフケアの習慣を身につけることの大切さを普及啓発
 - ・18歳から30歳ごろまでの若い世代に対する正しいセルフケアや歯周病予防等に関する普及啓発
 - ・高齢期における歯と口の機能維持の支援

◆関連計画:東京都保健医療計画・東京都歯科保健推進計画「いい歯東京」

◆ 分野別目標:変更あり(東京都歯科保健推進計画「いい歯東京」を踏まえて検討予定)

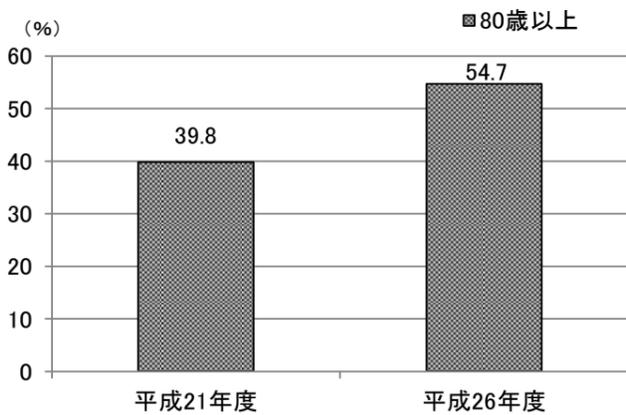
◆東京都健康推進プラン21(第二次)中間評価(分野別整理表)

領域と分野	分野別目標
2-6 歯・口腔の健康	歯・口の状態についてほぼ満足している者の割合を増やす

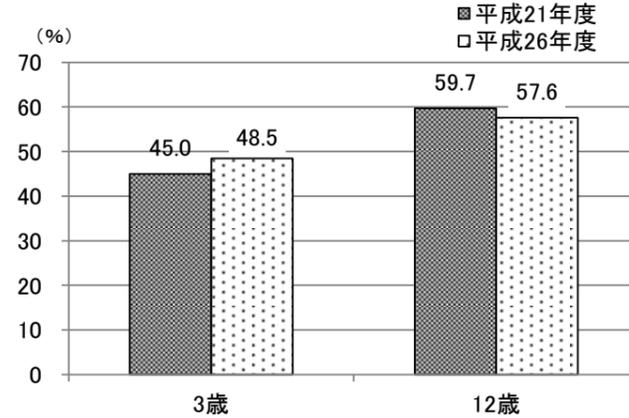
参考指標の推移

指標	策定時 (平成21年度)	最新値 (平成26年度)
1 「8020」達成者の割合(80歳) ＜東京都歯科診療所患者調査＞	39.8%	54.7%
2 かかりつけ歯科医を持つ者の割合(①3歳 ②12歳) ＜幼児期・学童期の歯科保健行動に関する調査報告＞	① 45.0% ② 59.7%	① 48.5% ② 57.6%
3 「8020」を知っている都民の割合(20歳以上) ＜東京都歯科診療所患者調査＞	57.6%	57.1%
4 かかりつけ歯科医で定期健診又は予防処置を受けている者の割合(40歳(35～44歳)) ＜東京都歯科診療所患者調査＞	59.6%	71.9%

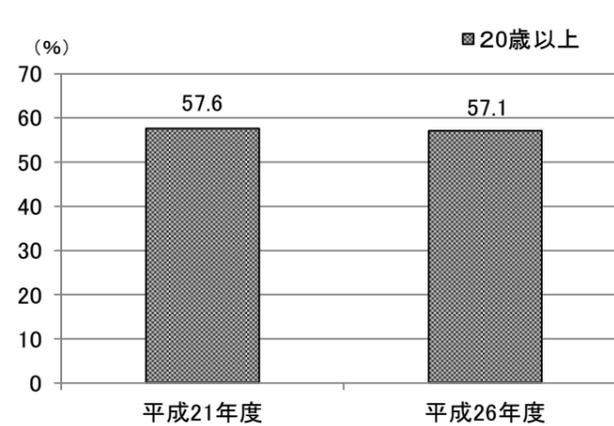
1 「8020」達成者の割合(80歳)



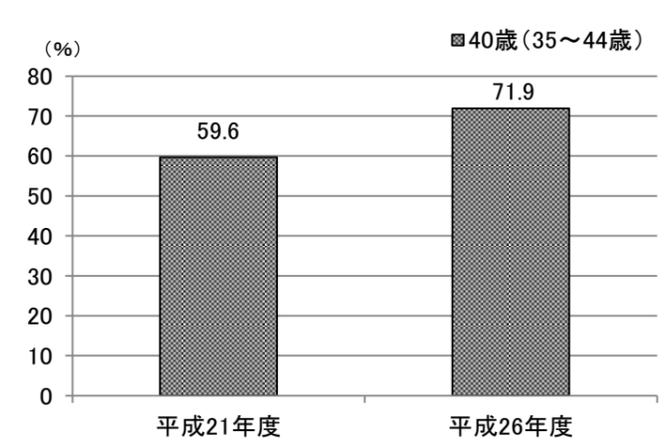
2 かかりつけ歯科医を持つ者の割合(①3歳 ②12歳)



3 「8020」を知っている都民の割合(20歳以上)



4 かかりつけ歯科医で定期健診又は予防処置を受けている者の割合(40歳(35～44歳))



【参考】

糖尿病が歯周病のリスクであることを知っている者の割合(20歳以上)
＜東京都歯科診療所患者調査＞

